

<b>教育課程論</b>
--------------

《担当者名》鳴海 昌江 ( 非 ) m-narumi@hokusei.ac.jp

## 【概要】

学校教育における教育課程の意義・目的、学習指導要領の位置付け・内容などを学修したうえで、教育課程を編成・運営するために必要な知識としての基本原理、手順、カリキュラム・マネジメントなどについて学ぶ。さらに、いくつかの学校の事例分析をとおして教員として必要な実践力を学び、国際的な資質・能力観動向から教育課程の課題について学ぶ。

## 【学修目標】

学校教育における教育課程について、教員として必要な基礎的知識と実践的な力を身に付ける。

- (1) 学校教育における教育課程の役割・機能と、その意義を理解する。
- (2) 教育課程編成の基本原理と、その編成方法を理解する。
- (3) 学校教育課程の全体を把握し、マネジメントすることの意義を理解する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育課程の意義(1)	学習指導要領とは何か並びにその変遷を学ぶ。 1 第二次世界大戦前：明治・大正・昭和 2 第二次世界大戦終戦（1945/S20）以後	鳴海
2	教育課程の意義(2)	教育課程とは何か並びに意義・目的を学ぶ。 1 教育課程の意義 2 教育課程編成の原則 3 教育課程の要素 4 教育課程の運用	鳴海
3	教育課程の意義(3)	教育課程に関する法制を学ぶ 1 教育課程に関する法制 2 学習指導要領の法的拘束力	鳴海
4	教育課程の意義(4)	現行学習指導要領の特徴並びに社会に果たす役割・機能を学ぶ。 1 高大接続改革の一環としての学習指導要領改訂 2 改訂の基本方針 3 現行学習指導要領の特徴 (1) 育成すべき資質・能力の三つの柱 (2) 社会に開かれた教育課程の実現	鳴海
5	教育課程の意義(5)	現行学習指導要領の特徴並びに社会に果たす役割・機能を学ぶ。 1 現行学習指導要領の特徴 (3) 主体的・対話的で深い学び (4) カリキュラム・マネジメント	鳴海
6	教育課程編成の方法(1) 確認小テスト	教育課程編成の基本原理を学ぶ。 1 教育課程編成の主体 2 編成の原則 3 特色ある教育活動など	鳴海
7	教育課程編成の方法(2)	教育課程編成方法の基礎を学ぶ。 1 教育課程の編成における共通事項 2 教育課程の全体把握実習	鳴海
8	教育課程編成の方法(3)	教育課程編成の基礎を学ぶ。 1 各学校の教育目標 2 教科横断的な視点に立った資質・能力 3 教育課程の全体把握実習	鳴海
9	教育課程編成の方法(4)	教育課程編成の留意点を学ぶ 1 各教科・科目の履修等 2 授業改善と学習評価 3 教育課程の全体把握実習	鳴海
10	教育課程編成の方法(5)	教育課程編成の留意点を学ぶ 1 教科・科目以外の学習活動 (1) 道徳教育に関する配慮事項 (2) 総合的な探究の時間 (3) 特別活動 2 教育課程編成の手順例 3 教育課程の全体把握実習	鳴海
11	教育課程編成の課題(1) 確認小テスト	育成すべき資質・能力に関する代表的な海外の理論的動向を学ぶ。 1 国際的機関の取組例：OECD ( PISA, Education 2030 ) 2 育成すべき資質・能力に関する代表的な理論的	鳴海

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		動向	
12	教育課程編成の課題(2)	カリキュラム・マネジメントの基礎を学ぶ 1 教育課程とカリキュラムの違い 2 カリキュラム・マネジメントの考え方と3つの側面	鳴海
13	教育課程編成の課題(3)	カリキュラム・マネジメントの理論を学ぶ 1 教育課程の評価について (1)学校評価の法的根拠 (2)教育課程の改善と学校評価	鳴海
14	教育課程編成の課題(4)	カリキュラム・マネジメントの方法を学ぶ 1 学校評価の実際 2 教科等横断的なカリキュラム全体把握の方法	鳴海
15	まとめ 確認小テスト	教育課程編成に係る諸課題を整理し、教育課程のあるべき姿について自分なりの考えをまとめ論述レポートを作成する。	鳴海

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

小テスト3回×15%＝45%、論述レポート15%、授業参加状況（発言、授業ワークシートの取組）40%

【教科書】

文部科学省「高等学校学習指導要領」

【参考書】

文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」（東洋館出版社）

広岡義之編著「新しい教育課程論」（ミネルヴァ書房）

授業中に適宜参考書を紹介するとともに資料を配布する。

ワークで学ぶ教育課程論〔増補改訂版〕（ナカニシヤ出版）

【備考】

- (1)1回目の授業の際に全15回の授業の概要と評価の観点を説明する。
- (2)授業で学ぶ内容について自ら考え、授業の中でも積極的に意見交換すること。

【学修の準備】

- (1)予習：毎回の授業時の最後に次回の授業内容を予告するので、教科書の該当する範囲や関連する資料を読んで学ぶ内容を確認しておくこと。（2時間）
- (2)復習：授業時に配布した資料並びに教科書、参考書を活用して学んだ内容を整理すること。（2時間）
- (3)学修の区切りで小テストを3回行うので、講義で説明された知識を整理すること。
- (4)常日頃から教育改革の動向や教育問題について関心を持ち、必要に応じて報道記事などをスクラップやメモするように心掛けること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」に該当する。

【実務経験】

鳴海昌江（小中特別支援及び高等学校教諭及び校長）（学校運営、教育課程全般の管理等）

【実務経験を活かした教育内容】

教育課程について、教諭及び管理職両方の視点から、国及び地方の動向を含め教育課程の事例分析や編成作業など実践的教育を行う。